

# 山口県南すおう地域で いちごを栽培しませんか？



温暖な気候で、いちご栽培に適した県内でも有数の産地です。  
「JA山口県南すおういちご部会」では、意欲ある生産者が  
協力し、いちごの技術研修、共同販売を実施しています。

## 産地概要

栽培地域：柳井市、田布施町、平生町、光市（旧大和地域）

栽培戸数：23戸 栽培面積：182a（R5年産）

栽培品種：さちのか、紅ほっぺ、恋みのり

出荷時期：12月～5月

出荷先：県内市場、地域直売所等



## おすすめポイント

- ◎南すおう地域のいちごは、市場や消費者の評価が高く、単価が比較的安定しており、高収益が見込める推奨品目です。
- ◎R1年1名、R3年1名、R6年1名、R7年2名と県内トップレベルの新規就農者数で、就農前の技術研修や農地等の支援、就農後のサポート体制も充実しています。※R6とR7は見込み
- ◎管内の8割で高設栽培が導入され、作業負担の軽減が図られています。



# 就農までの流れ（目安）

## STEP 1

就農相談  
産地見学

- 就農相談窓口への相談（随時受付）
- 生産の現場を視察（日程要相談）

## STEP 2

短期研修  
適性の確認等

- 農家での短期研修で適性等を確認（1週間程度まで、時期や日程は要相談）

## STEP 3

面談  
研修先の決定  
就農計画の作成

- 関係機関と協議し、就農の可否や就農場所、研修先、経営内容等を検討
- 就農に向けた研修受講等の具体的な計画を作成

## STEP 4

長期研修  
（実務研修2年）

- 指導農家の元で経営開始に必要な技術を習得
- 1年目：農大等での基礎知識、技術の習得  
2年目：模擬経営研修、就農準備等

## STEP 5

就農

- 就農計画の実践、経営改善

## ● いちごの栽培カレンダー



※収穫開始や終了時期は、栽培管理や生育状況によって変わりますのでご注意ください。

## ● いちごの経営事例

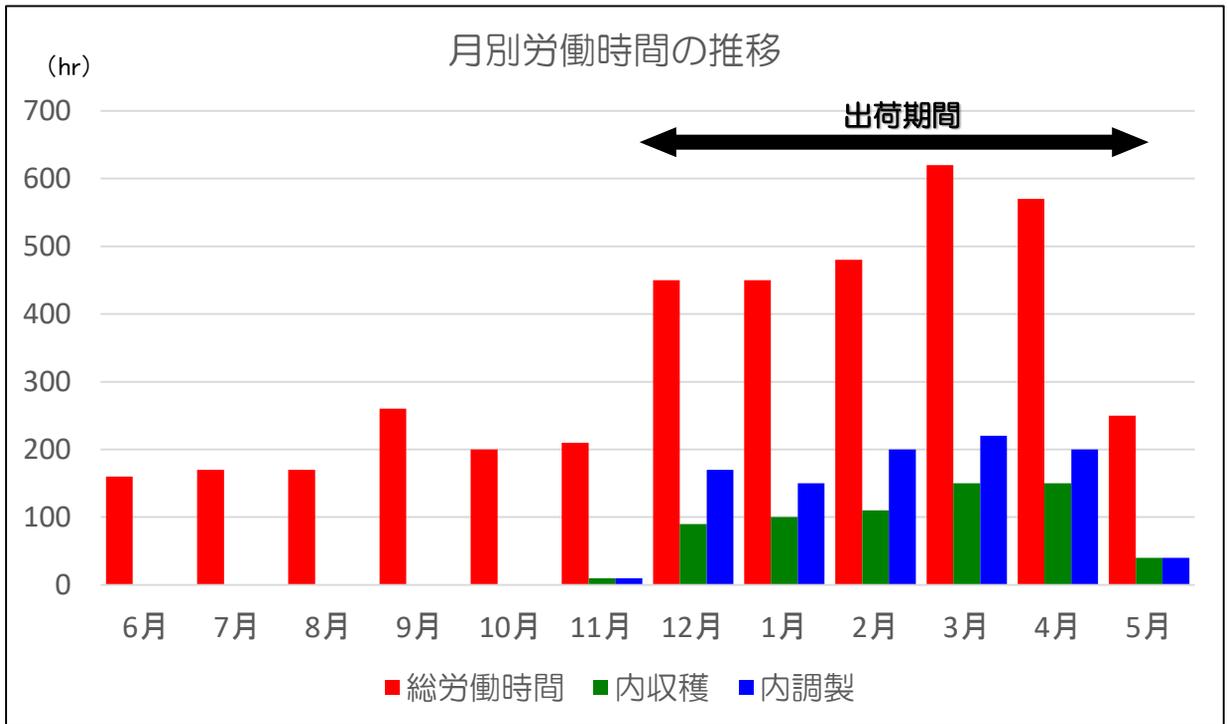
### <事例の概要>

- ・ 非農家で、土地は借地、南すおう地域内で就農
- ・ 経営品目は「いちご」のみ
- ・ 就農後3年以上経過し、ある程度の栽培技術を習得
- ・ パイプハウスは県事業等を活用して新規に設置
- ・ 労働力は本人及び臨時雇用者で対応

栽培面積	10a
生産量	6t
<b>収入</b>	<b>9,700千円</b>
<b>経費全体</b>	<b>7,720千円</b>
肥料・農薬・その他資材費	1,470千円
販売経費	1,790千円
減価償却費	880千円
賃借料（ハウスリース料）	1,260千円
動力光熱・水道費	930千円
雇用労賃	980千円
その他経費	400千円
<b>所得</b>	<b>1,980千円</b>

## ● いちごの労働時間

12月～4月までの出荷期間中は、月の労働時間が400時間以上、特に出荷量が多い月は600時間以上になります



## ● お問い合わせ先

### ● 各市町の就農支援や農地等について

柳井市農林水産課	0820-22-2111 (代表)
上関町産業観光課	0820-62-0360
田布施町経済課	0820-52-5805
平生町産業課	0820-56-7117
光市農林水産課	0833-72-1494
柳井農林水産事務所農業部	0820-25-3292

### ● 生産組織・販売について

JA山口県 南すおう統括本部 営農センター 0820-22-9787